

資料

部落解放研究関係文献目録

(一九七八年四月～十二月)

【現 状】

- ▲特集▽「全国(抽出)部落実態調査がしめすもの(1)」
 (『部落解放』一六号、4月)
 友永健三「部落の現状と『特措法』の強化延長」
 谷木寛作「『涙痕の碑』とポタ山の下に・長崎、福岡」
 飯田敬文「無策のうちに過ぎた九年・島根」
 稲別正晴「急傾斜地の危険地帯に・愛媛」
 友田泰正、池田寛「近代的なビルの裏側に・愛知」
 谷口幸男「(動向) 印南町進路実態調査のその後」
 (『部落』三六五号、4月)
 部落解放中央共闘会議「特別措置法」強化延長要求国民調査団
 報告書(『部落解放中央共闘会議』、4月)
 ▲特集▽「全国(抽出)部落実態調査がしめすもの(2)」
 (『部落解放』一一八号、5月)
 吉元成治「名ばかりの『産炭地振興』のなかで・福岡」
 鈴木恭順「中国地方の被差別部落・広島、鳥取」

伊藤正則「近畿地方の被差別部落・大阪、三重」
 和歌山県連「その場しのぎと実薄い『同和』対策の九年・和歌山」

向当久雄「関東の被差別部落・群馬」

谷木寛作「悪臭と汚水・廃棄物のなかで・東京」

解放新聞社「被差別部落・II」(三一書房、5月)

玉置哲淳・梅田昌彦「高校教育と階級(階層)の相互関係の実態調査報告」(『部落解放研究』一四号、6月)

阪南中央病院健康管理部「住民検診からみた保健医療問題―大阪・更池部落の保健衛生状態(2)」(『部落解放』一一九号、6月)

水野 武「同和地区における中小企業問題」
 (『部落問題論究』三三号、6月)

▲特集▽「部落のしごとはどう変わったか」(『部落』三六七号、6月)
 女屋定俊「部落のしごとは今、どうなっているか」
 青木孝寿「部落のしごとの変化・長野県」

安川重行「国民的融合へ前進する部落・御所市小林の概況」
 平井清隆「山村労働」木出し・滋賀県坂本、龍華」

- 猪村和巳「変貌する紀南の部落・串本町」
 村中 勇「筑豊の部落は、この十年間でどう変わったか」
 豊田慶治「(動向) 京都市市営住宅入居者実態調査(中間報告)」(同右)
 厚生省児童家庭局「昭和五一年度保育需要実態調査結果の要約」(『こども』四号、7月)
 成沢栄寿「全国会議の実態調査にみた未解放部落の変化」(『部落』三三〇号、9月)
 三村正弘「福島地区の生活と健康問題」(同右)
 西村照巳「奈良県の『部落産業』の変遷と危機的状況」(同右)
 西田 績「北九州市における不公正・乱脈な同和行政の現状について」(同右)
 奥山峰夫「十年ぶりの部落問題―ユージン・ルール氏に聞く」(同右)
 杉尾敏明「部落問題に関する国民の意識状況(1)」(『月刊部落問題』二二二号、9月)
 同和問題研究会「同和問題意識調査報告書」(同和問題研究会、8月)
 東京都産業労働会館「かわとはきもの」№25(東京都産業労働会館、9月)
 住吉同和教育推進協議会「第二回学力実態調査報告」(住吉同和教育推進協議会、9月)
 豊田慶治「一九七七年現状・行政研究の成果と課題」

- (『部落問題研究』五八輯、10月)
 杉尾敏明「部落問題に関する国民の意識状況(その2)」(『月刊部落問題』二二三号、10月)
 山下 力「奈良の部落の現状と解放運動」(『部落解放』一一二五号、11月)
 松井久吉・小森竜邦「部落の実態と環境改善の課題」(同右)
 野本勝彦「労働の実態と仕事保障の課題」(同右)
 藤沢喜郎「部落の生活の現状と社会保障」(同右)
 川口正志「部落産業の現状と課題」(同右)
 前田俊政「農漁村部落の現状と課題」(同右)
 ▲特集▽「部落の生活はどう変わったか」(『部落』三三三号、11月)
 部落解放大阪府企業連合会「部落産業と人材養成」(同上、11月)
 ▲座談会▽「少数点在部落の実態―奈良県宇陀郡曾爾村伊賀目爪ヶ久保にみる」(『部落解放』一二六号、12月)
 友永健三「部落の実態と『特別措置法』の強化延長」(第三回東日本部落解放講座講演集、12月)
 梅原 昭「日本の農業と減反問題」(同右)
 杉尾敏明「部落問題に関する国民の意識状況(その3)」(『月刊部落問題』二二四号、11月)
 部落解放大阪府企業連合会「部落産業と社会保険」(同上、12月)
 渡辺久丸「同和对策事業特別措置法の成立過程をめぐって」

【行 政】

【部落問題研究】五六輯、5月)
部落問題研究所編「同特法、その内容と延長問題」(部落問題研究所、5月)

内田正志「同和行政の到達点と課題・大都市の場合」
【部落問題研究】五七輯、6月)

入江祥三郎「同和行政の到達点と課題・中小都市の場合」(同右)
山下幸雄「同和行政の到達点と課題・町村の場合」(同右)

原野 翹「同和補助金行政の法律問題」
【部落問題論究】三号、6月)

山口 明「神戸市の同和行政」(同右)
西川恭次「八鹿町における同和行政」(同右)

尼崎部落問題研究会「尼崎市における同和行政」(同右)
東京都同和問題懇談会「東京都における同和行政の基本的あり方について」(同、7月)

荻田哲男「地方財政と部落解放総合計画」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

山中多美男「要求別組合と「同和」事業の実施のあり方」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

杉之原寿一「これからの同和行政」(市民学習シリーズ5)(兵庫部落問題研究所、8月)

【資料】「同和行政の効果」(中間報告)——全国同和对策協議会専門部会による——【部落解放研究】一五号、9月)

▲特集▼「東京都同和問題懇談会答申」批判」

谷木寛作「ボタ山に残月さびし——被差別部落実態調査に参加して」(月刊総評)二四五、5月)

▲部落解放同盟第33回全国大会報告書▼【部落解放】一一七号、5月)

梅沢利彦「記録・狭山差別の歴史的基盤」(シリーズ・東京の部落解放運動3)(ひかり社、5月)

友永健三「国際人権規約批准運動の意義について」
【部落解放研究】一四号、6月)

金東勲「国際人権規約と定住外人の生存権」(同右)
【資料】「あらゆる形態の人種差別撤廃に関する国際条約」(同右)

高野雄一「国際人権規約の歴史的意義」(同右)
高杉晋吾「東京の部落差別事件」

【東京部落解放研究】一四号、6月)
(座談会)「東京出身者の部落解放運動への語り」(同右)

原田伴彦「東京の部落問題・被差別部落の歴史」(同右)
西 順蔵「東京の部落問題」(同右)

師岡佑行「アフリカとフランスから来た友人たち」
【京都部落史研究所報】六号、6月)

野間 宏「狭山差別裁判・批判と闘い」(三一書房、6月)
鷺山諦住「狭山裁判を追う——再審請求へ熱い願いこめて」(西本願寺出版部、6月)

近畿大学比較法・政治研究所「平等権に関する資料集②」(近畿

【東京部落解放研究】一六号、10月)

▲特集▼「東京都同和懇答申をめぐって」(部落「三七二号、10月)

磯村英一「全国同和对策協議会の「同和行政の効果」報告によせて」(部落解放研究)一六号、12月)

【資料】「特別措置法」最終年度を迎えた国の財政措置の実態」(同右)

【運 動】

吉村 励「部落問題と最低賃金制」

【最低賃金制読本】日本評論社、4月)

野間 宏「狭山裁判・最高裁判所「決定」に対決する⑦・扼殺と血液の奇怪」(「世界」三八九号、4月)

岡村太郎「授津訴訟の背景と現段階」(「ぼろぼろ」三号、4月)
小倉襄二「授津訴訟と今日の児童福祉行政」(同右)

全国部落解放運動連合会「部落解放の理論と実践——第六回部落問題全国研究会報告」(全国部落解放運動連合会、4月)

同対審大阪府民共闘会議「特別措置法」強化延長、部落解放をいかに闘うか」(同対審大阪府民共闘会議、4月)

野間 宏「狭山裁判・最高裁判所「決定」に対決する⑧——解明されない事実」(「世界」三九〇号、5月)

上杉佐一郎「部落解放運動の課題と展望——部落解放同盟第三回全国大会を終えて」(月刊社会党)二五八号、5月)

大学比較法・政治教育研究所、6月)

部落解放同盟大阪府連合会「浪速窓口一本化裁判」の判決と「大阪府同促協方式」について」(部落解放同盟大阪府連合会、6月)

大阪府企画部同和对策室「部落地名総鑑」事件資料」(大阪府企画部同和对策室、6月)

亀井トム「狭山事件への告発状」(三一書房、7月)
解放出版社「差別が奪った青春」第二版「解放出版社、7月)

部落解放同盟中央本部「野放し差別を問うもの」(部落解放同盟中央本部、7月)

全国部落解放研究会連合青年戦闘同志会「判冠」十二号(判冠社、7月)

「底流」編集会議「底流」第一九号(東交部落解放研究会、7月)
部落解放同盟大阪府連合会「あいつく差別事件・一九七八」(大阪府連合会、8月)

松本健男「狭山差別判決と再審闘争」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

浅野隆広「大企連十年の歩みと今後の課題」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

谷畑 孝「仕事保障と最賃闘争」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

山中多美男「地名総鑑」闘争の意義と課題」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

友永建三「部落の実態と措置法強化延長の闘い」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)
西岡 智「部落解放運動と共同闘争」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

小森龍邦「差別のとらえ方と糾弾」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)
向井 正「機関運営と組織原則について」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)

部落解放同盟大阪府連合会「浪速窓口一本化裁判に勝利の判決」
「訴え自体が不適法」(「部落解放」一二二号、8月)

大川 順「野放し差別を商うもの」第八の「地名総鑑」と今後の「たたかい」(「部落解放」一二二号、8月)

松本健男「石川一雄氏の仮出獄の法的根拠」
「部落解放研究」一五号、9月)

金東 勲「人権の国際的保護と人種差別撤廃条約」(同右)

(資料)「国際人権規約」(外務省正式訳)(同右)

沖浦和光「図書紹介」差別糾弾と民主主義」
「解放教育」九九号、9月)

大阪郵便局連合部落解放研究会「刑冠旗」へ別冊・事務引き継ぎの差別メモに対する我々の見解」(同、9月)

部落解放同盟東京都連合会「同和懇」答申を糾弾しよう」(部落解放同盟東京都連合会、9月)

「同和对策特別措置法」強化延長要求国民運動中央実行委員会

「特別措置法」強化延長をめぐる国会論議」(同、9月)
▲特集▼「農山漁村部落は、どう闘うか」(「部落解放」一二三三号、10月)

石川 一郎「狭山現地報告」(三一書房、10月)

部落解放同盟大阪府連合会「有事立法を粉砕しよう・政治共闘教宣資料」(部落解放同盟大阪府連合会、10月)

青地 晨「司法の反動化と人権闘争」
「部落解放」一二五号、11月)

谷木寛作・駒井昭雄「部落解放と共同闘争」(同右)

西岡 智・羽音 豊「狭山」再審闘争の現状と課題」(同右)

大西正義・友永健三「地名総鑑」糾弾闘争と国際人権規約批准闘争の現状と課題」(同右)

上杉佐一郎「特別措置法」強化延長闘争の現状と課題」(同右)

部落解放研究所「第三回西日本部落解放講座講演集」(部落解放研究所、11月)

上杉佐一郎「三大闘争と部落解放」
西川 潤「八十年代の人権」
磯村英一「現代日本と人権」

部落解放研究所「部落解放年鑑・一九七五年版」(部落解放研究所、11月)

部落解放同盟中央執行委員会「十月十九日部落解放同盟拡大中央委員会における「特別措置法」三年延長と付帯決議に関する中央執行委員会報告」(「部落解放」一二六号、12日)

柴山恵美子「国際人権規約と婦人解放の新段階」

(「部落解放研究」一六号、12月)
熊野 昭「宮崎県における部落の現実と解放運動」
「部落解放史ふくおか」一三号、12月)

大塚秀之「アラン・バッキ事件」(月刊部落問題」二四号、12月)

部落解放研究所「第三回東日本部落解放講座講演集」(部落解放研究所、12月)

野本勝彦「関東の部落解放運動の展望」
上杉佐一郎「部落解放運動の展望」

中山武敏「司法反動と人権」
部落解放同盟大阪府連合会「有事立法の危険なたくらみ」(同、12月)

部落解放同盟大阪府連合会「狭山差別裁判闘争と「特別措置法」闘争について」(同、12月)

部落解放同盟大阪府連合会「戦争と差別と貧乏に反対して」(同、12月)

解放新聞社長野支局「学習院大学に対する古文書返還闘争」(部落解放同盟長野県連合会、12月)

解放新聞社「解放新聞」縮刷版第五巻八一九六八年〜七〇年」(解放新聞社、12月)

【理 論】

吉村 励「労働問題と差別」(「部落解放研究」一四号、6月)

杉之原寿一「民主主義の課題と今日の部落問題」

(「部落問題研究」五七号、6月)
中川信義「部落問題と国民融合」(同右)

北原泰作「国民的融合論の前進のために」(同右)

吉村 励「労働問題と「差別」」
「経済学雑誌」七八巻五・六号、6月)

馬原鉄男「新しい部落解放の理論」(市民学習シリーズ4) (「兵庫部落問題研究所、6月)

佐和慶太郎「新融和主義」国民的融合論の退廃」
「部落解放」一二〇号、7月)

佐和慶太郎「部落問題と共産党の二枚舌」(「当面の政策」と「国民融合」との裏腹関係について) (「労働運動研究」二〇五号、7月)

佐和慶太郎「部落完全解放とは何か」(三一書房、7月)

小森龍邦「部落解放のめざすもの」(「解放出版社、8月)

馬原鉄男「動向・国民的融合論の具体的展開を」第16回部落問題研究者全国集会への期待」(「部落」三七一号、10月)

【解放教育】

大賀正行「部落史と解放理論の諸問題」
「部落解放」一二五号、11月)

吉村 励「労働問題と「差別」」
「第三回東日本部落解放講座講演集」、12月)

村越末男「国際人権規約の批准と教育の課題」

- 〔現代教育科学〕二五三号、4月〕
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(四)―二つの全国大会と杉山守・安川重行」〔月刊はぐるま〕一一号、4月〕
 中野陸夫「教科書の部落問題記述が提起するもの―小中学校教科書の分析―」〔現代教育科学〕二五四号、5月〕
 中村拓三「部落解放運動と解放教育―その歴史・現状・課題にふれて」〔ジュリスト増刊総合特集〕一〇号、5月〕
 菅原辰蔵・木下浩「県内同和教育の動きメモ」〔新潟県部落史研究〕創刊号、5月〕
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(四)―金子欣哉と同和教育の実践」〔月刊はぐるま〕一二号、5月〕
 出口俊一「同和教育とは何か―東上高志」同和教育の全体像を求めて」にかかわって」〔月刊部落問題〕一八号、5月〕
 川向秀武「部落解放教育の研究の展望と課題」〔現代教育科学〕二五六号、6月〕
 福地幸造「書評・『実践同和教育論』」〔朝日ジャーナル〕二二二号、6月〕
 石田真一「学校教育における同和教育の課題」〔部落問題研究〕五七輯、6月〕
 北村信幸「部落問題学習の内容と方法・小学校の場合」(同右) 谷口幸男「部落問題学習の内容と方法・中学校の場合」(同右) 野村千代子「部落問題学習の内容と方法・高校の場合」(同右) 杉尾敏明「同和教育論の視点」〔部落問題論究〕三三号、6月〕

杉尾敏明「広島部落問題と同和教育②」『地域進出』と『連携』

〔月刊部落問題〕一九号、6月〕

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(四)―村橋端と富田の教育」〔月刊はぐるま〕一三三号、6月〕

鈴木祥蔵「子どもは集団のなかで育つ」(解放保育シリーズ2)〔解放出版社、6月〕

八木晃介「反差別と教育労働」(部落解放新書6)〔解放出版社、6月〕

▲特集▽「原点からの問いかけを―第八回全国解放教育研究会にむけて」〔解放教育〕九六号、7月〕

▲特集▽「長野の解放教育運動」(同右)

森山沾一「感想だけの『同和』教育、をこえるものとは」〔部落解放史ふくおか〕一二号、7月〕

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(四)―部落子ども会と北谷兄弟」〔月刊はぐるま〕一四号、7月〕

解放出版社「破けたノートから―部落解放教師群像」(解放出版社、7月)

▲特集▽「進路の変化と課題」〔部落〕三六八号、7月〕

▲特集▽「国際人権規約と教育」〔解放教育〕九七号、8月〕

▲特集▽「子どもたちのおかれた現実」(同右)

▲特集▽「あすをつくる―第五回『にんげん』実践研究会」〔解放教育〕九八号、8月〕

治田順陽「映画『部落差別はこうしてつくられた』の感想作文と

- 指導」〔東京部落解放研究〕一五号、8月〕
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(四)―朝日新聞と三百万人の訴え」〔月刊はぐるま〕一五号、8月〕
 杉尾敏明「広島部落問題と同和教育④」『差別事件』と同和教育」〔月刊部落問題〕二二二号、8月〕
 出口俊一「解放学級」批判(上)」〔月刊部落問題〕二二二号、8月〕
 大阪府同和教育研究協議会「第二十回信貴山研報告集」(大同教8月) 前川 実「大阪におけるあいつく大学の差別事件」〔部落解放〕一二二号、9月) ▲特集▽「子ども会と子どもたち」〔解放教育〕九九号、9月) 海老原治善・大塚忠広「教育における平等人の国際的潮流」〔部落解放研究〕一五号、9月) (資料)「教育における差別待遇の防止に関する条約」(同右) 出口俊一「解放学級」批判(中)」〔月刊部落問題〕二二二号、9月) (月刊部落問題)二二二号、9月) 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(四)―山内中学と『集団の教育』」〔月刊はぐるま〕一六号、9月) 部落問題研究所「部落問題の教育史的研究」(部落問題研究所、9月) ▲解題▽安川寿之輔「部落問題の教育史的研究の現状と課題」

部落解放同盟大阪府連合会』ともに生きたい、一九七九年養護学校義務化に反対する」(部落解放同盟大阪府連合会、9月)

部落解放同盟大阪府連合会「高校問題資料」高校改革への要求」こそこの概説」(部落解放同盟大阪府連合会、9月)

▲特集▽「解放教育理論の創造をめざして」〔解放教育〕一〇〇号、10月) ▲特集▽「第三〇回全国同和教育研究大会」

〔東京部落解放研究〕一五号、10月) 東京都同和教育研究協議会「小・中・高校歴史教科書における

『部落問題』記述について」(同右) 西 滋勝「同和教育論をめぐる若干の意見の相違について」

〔部落問題研究〕五八輯、10月) 安川寿之輔「部落問題の教育史的研究の成果と課題」(同右)

出口俊一「解放学級」批判(下)」〔月刊部落問題〕二二三号、10月) (月刊部落問題)二二三号、10月) 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(四)―板崎博孝と勤評闘争」

〔月刊はぐるま〕一七号、10月) 山中多美男「就学前教育、小学校教育と小小学子ども会」

〔部落解放〕一二五号、11月) 村越末男「中学校教育と中学生子ども会・高校教育と高校友の会」

〔同右) 宮本 繁「教育条件整備の闘いと文部省交渉」(同右) ▲特集▽「実践に生きる―第八回全国解放研究会から」

- 〔解放教育〕一〇一号、11月)
 ▲特集▽「いま教育建設をここに—奈良・若井支部の盟休闘争」(同右)
 ▲特集▽「東日本の解放教育運動の現状と課題—全国教東日本大会の成功のために」〔解放教育〕一〇二号、11月)
 小沢有作「民族解放の教育と部落解放教育」
 (第三回西日本部落解放講座講演集)、11月)
 ▲特集▽「第一回乳幼児発達研究所夏期合宿研究会」(「はらうば」五号、11月)
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年ゆ—全国教第一一回大会と高知の教師たち」〔月刊はぐるま〕一八号、11月)
 部落解放同盟奈良県連合会「同和」教育運動の帰趨をかけた平群中学差別糾弾闘争—差別との闘いに目覚め、たちあがった子どもら」〔部落解放〕一六号、12月)
 ▲特集▽「シンポジウム・いざ」第三の教育改革」をどうみるか」〔解放教育〕一〇三号、12月)
 大塚忠広「国民融合をめざす同和教育」論批判」
 (部落解放研究)一六号、12月)
 全国大学部落解放研究協議会事務局「全国大学部落解放研究協議会この四年」(同右)
 鈴木祥威「子供の発達と同和保育」
 (第三回東日本部落解放講座講演集)、12月)
 村越末男「今日の解放教育の課題」(同右)

- 森 純夫「第五回九州地区「同和」教育夏期講座の意義と課題」
 (部落解放史ふくおか)一三三号、12月)
 三苦鉄児「見据える」教育とは」(同右)
 安川寿之輔「部落解放運動と教育—子どもの自己変革と発達」
 (委刊教育運動研究)九号、12月)
 ▲特集▽「大学と部落問題」〔部落〕三七五号、12月)
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年ゆ—藤井千鶴子と識字学校」〔月刊はぐるま〕一九号、12月)
 全国同和教育研究協議会「第三十回大会分科会報告書」(全国同、12月)
 部落問題研究所編「資料戦後同和教育史」(部落問題研究所、12月)
 【社会啓発】
 藤田敬一「新たな差別意識論への問題提起」堀口牧子著「現代日本の差別意識」〔京都部落史研究所報〕四号、4月)
 村上博光「社会同和教育」〔月刊社会教育〕二四九号、4月)
 鳥飼慶陽「動向」神戸市の同和問題市民啓発の検討について」〔部落〕三二六号、5月)
 井上英之「社会教育研究からみた同和教育的課題」
 (部落問題研究)五七号、6月)
 手塚英男「部落問題学習の内容と方法・社会教育の場合」(同右)
 住田利雄「隣保館(解放会館)活動の現状と課題」

- 〔部落解放〕一二五号、11月)
 太田善照「社会啓発の現状と課題」(同右)
 部落問題研究所「部落問題学習をすすめる視聴覚教材とその手引」
 (部落)特別号、11月)
 藤原英夫「成人教育をめぐる国際的な動き」
 (部落解放研究)一六号、12月)
 加藤敏明「部落問題意識調査報告書」にみる住民意識の現状と課題」(同右)
 【文化・思想】
 土方 鉄「古賀忠昭の詩にふれての走書き問題提起」
 (新日本文学)三六九号、5月)
 北原泰作・杉之原寿一・藤谷俊雄「てい談・差別・その根源を問う」を批判する(1)〔部落〕三六六号、5月)
 ▲特集▽「被差別大衆の生活と文化」(差別とたたかう文化)五号、5月)
 北本和子「南王子村の女と杉末の女—女働きと婚制について」
 (部落解放研究)一四号、6月)
 小沢昭一・菅 孝行「対談・芸能の被差別」
 (東京部落解放研究)一四号、6月)
 山岸堅誓「映画「信濃の夜明け」とその問題点」
 (部落問題研究)五七号、6月)
 岡庭 昇「差別と表現—詩をめぐる断片的な覚書として」

- 〔新日本文学〕三七〇号、6月)
 北原泰作・杉之原寿一・藤谷俊雄「てい談・差別・その根源を問う」を批判する(2)〔部落〕三六七号、6月)
 藤沢秀雄「生きている二宮金次郎」
 (部落解放史ふくおか)一二号、7月)
 中上健次「木の国・根の国物語」(朝日新聞社、7月)
 ▲特集▽「文化活動と部落問題」〔部落〕三六九号、8月)
 北川鉄夫「動向・文化問題の思想について」(同右)
 村崎修二「大道芸能—猿まわしの復活と部落解放運動」
 (月刊部落問題)二二号、8月)
 古賀正之「破戒」における差別性について」
 (部落解放)一二二号、9月)
 梅沢利彦「シリーズ・文学の中の被差別部落像I・「破戒」の差別史の意味」〔東京部落解放研究〕一六号、10月)
 革編集委員会「革」第二号(解放出版社・10月)
 寺本 知「文化活動・運動の現状と課題」
 (部落解放)一二四号、11月)
 村田恭雄「部落解放と文化活動(伝承と創造)」
 (部落解放)一二五号、11月)
 部落解放同盟中央本部「部落解放第一回全国文化祭、たたかいの祭り」(部落解放同盟中央本部、11月)
 土方 鉄「巨塚市東の盆踊り子守唄」にふれて」
 (部落解放研究)一六号、12月)

緑川 亨「現代社会と人権」

〔第三回東日本部落解放講座講演集〕、12月)

【通史】

寺本 知「青年が生命をかけて―この人に聞く(6)」

〔解放新聞〕大阪版三〇七号、4月)

渡辺俊雄「わが村のなりたちと闘いの歴史」(同右)

南部郷部落問題研究会「村にある部落―和歌山・南部町芝村(1)」

〔部落〕三六五号、4月)

本間陽一「新潟県部落問題研究会の回顧と反省」

〔新潟県部落史研究〕創刊号、5月)

庄司吉之助「平野小剣と私」(同右)

中尾 肇「部落解放運動の先駆者中尾増軒」

〔部落問題研究〕五六輯、5月)

南部郷部落問題研究会「村にある部落―和歌山・南部芝村(2)」

〔部落〕三六六号、5月)

寺本 知「屍を乗り越えて―この人に聞く(7)」

〔解放新聞〕大阪版三一一号、5月)

もろさわようこ「部落の母たち」(ドキュメント女の百年(1)女の

一生)平凡社、5月)

部落解放同盟大阪府連合会松原文部「しぶとういかんと・被差別

部落更池に生きる」(松原文部、6月)

同 右「更池部落解放年表(草稿)」(同右)

南部郷部落問題研究会「村にある部落―和歌山・南部町芝村(3)」

〔部落〕三六七号、6月)

西岡 智「大衆とともに学び、闘う―この人に聞く(8)」

〔解放新聞〕大阪版三一五号、6月)

盛田嘉徳「あの人(1)」(同右)

上杉佐一郎「田中織之進先輩のこと」

〔部落解放〕一一〇号、7月)

清原美寿子「西光万吉と絵」(同右)

△特集▽「カースト制、差別の源流を考える」(部落解放史ふく

おか)一二号、7月)

井元麟之・高田繁・松崎武俊・真崎勝美・イアン||ニアリー・

執行嵐「座談会・インドの不可触民差別を考える」(同右)

岩田啓晴「カースト制」(同右)

岡山遠俊「差別の源流を訪ねて」(同右)

くらだいすけ「旃陀羅の子」ビルリ王」と西光万吉」(同右)

仲尾俊博「旃陀羅と部落問題(4)」(同右)

金子・マーティン「ジプシーに対する差別」(同右)

柴田啓蔵「再び有馬頼寧のこと」(同右)

原口頼雄「聞く」から「考える」講座へ・第二回福岡県部落解

放史研究講座のまとめとして」(同右)

西岡 智「大衆とともに学び、闘う―この人に聞く(9)」

〔解放新聞〕大阪版三一九号、7月)

盛田嘉徳「あの人(2)」(同右)

木村美代子「解放センターでがんばり続けて二〇年たった―この

人に聞く(10)」〔解放新聞〕大阪版三三三三号、8月)

盛田嘉徳「あの人(3)」(同右)

郷土の歩み編集委員会「郷土の歩み」第五号(郷土の歩み編集委

員会、8月)

高山秀夫「部落の今昔(5)―都市にある部落―東京・浅草その二」

〔部落〕三六九号、8月)

村越末男「着実な大衆闘争を先輩からまなぶ―この人に聞く(11)」

〔解放新聞〕大阪版三二七号、9月)

盛田嘉徳「あの人(4)」(同右)

高山秀夫「部落の今昔(6)―都市にある部落―東京・浅草その二」

〔部落〕三七〇号、9月)

部落解放研究所「部落問題要説」(解放出版社、9月)

井元麟之・山本政夫・田中松月・岩本慶輝・鷲山諦住・仲尾俊博

・嵯峨野洋・村越末男「座談会・仏教と部落差別(上)」

〔部落解放〕一二三三号、10月)

横井 清「遠い旅、尽きせぬ興味―阿部謹也著『中世を旅する人

びと』にふれて」(京都部落史研究所報)一〇号、10月)

盛田嘉徳「あの人(5)」〔解放新聞〕大阪版三三三二号、10月)

八木晃介「差別糾弾―その思想と歴史」(批評社、10月)

(座談会)「仏教と部落差別(下)」(部落解放)一二四号、11月)

△小特集▽「東日本の解放運動につくした人々」(解放教育)一

〇二号、11月)

沢本清二郎「埼玉・野本武一」

清塚幾太郎「群馬・平井義雄」

山浦六雄「長野・朝倉重吉」

古賀誠三郎「東京・深川武」

敷本五郎「神奈川・吉田茂/村井忠次郎」

住田利雄「生活のなかから差別への怒りを結集した―この人に聞

く(12)」〔解放新聞〕大阪版三三五号、11月)

盛田嘉徳「あの人(6)」(同右)

高山秀夫「部落の今昔(7)―都市にある部落―東京・浅草その三」

〔部落〕三七三三号、11月)

山本政夫「わが部落の歩み」(和光クラブ、11月)

望月町教育委員会「望月の部落史」第四集(同、11月)

仲尾俊博「旃陀羅と部落問題(5)」

〔部落解放史ふくおか〕一三三三号、12月)

住田利雄「ぶつかりあい議論しながら闘ってきた―この人に聞く

(13)」〔解放新聞〕大阪版三三三九号、12月)

盛田嘉徳「あの人(7)」(同右)

郷土の歩み編集委員会「郷土の歩み」第六号(郷土の歩み編集委

員会、12月)

東京都同和教育研究協議会「東京の被差別部落―歴史と解放運

動」(同右、12月)

【前近代史】

- 横井 清「紙背にひそむ歴史の真実—盛田嘉徳著『河原巻物』」
 【京都部落史研究所報】四号、4月
 寺木伸明「近世初頭の天皇制と被差別部落の起源」
 【天皇制と靖国を問う】勁草書房、4月
 前 圭一「部落史の新しい見方②」【部落問題】一七号、4月
 源城放好「萩野家本『雑色要録』—松本家本との異同について」
 【京都部落史研究所報】五号、5月
 木下 浩「新潟県部落史研究の現状と課題」(上)
 【新潟県部落史研究】創刊号、5月
 佐藤泰治「史料に見られる越後の『部落』初見と若干の考察」
 (同右)
 村山敬二「佐渡における被差別部落の成立をめぐって」(同右)
 生瀬克己「近世における見せ物と『五体不具』」
 【差別とたたかう文化】五号、5月
 藤本清二郎「最近の『幕藩制国家における賤民身分制』論について」
 【部落問題研究】五六輯、5月
 (資料)「大和における『非人番給』史料」(上)(同右)
 畑中敏之「動向」近世賤民制研究の二、三の問題
 【部落】三六号、5月
 平野部落史研究会「平野・市の口地蔵—歴史を歩く④」
 【解放新聞】大阪版三一―一、5月

なかざわしんきち「中世被差別民の系譜—中世被差別民の主体を
 なす散所の成立とその考察」【ふるさと展望】四号、6月
 前 圭一「かわた」支配の地域的特質」
 【部落問題研究】五七輯、6月

安達五男「江戸時代における宗教政策と部落問題について」
 (同右)

前 圭一「部落史の新しい見方③」—問一答」

【月刊部落問題】一九号、6月

松崎武俊「江戸期における福岡地方の部落と農業」(その五)

【部落解放史ふくおか】一二号、7月

貴田典子「たゆまぬ労働の歴史を掘り起こす」(同右)

師岡佑行「絵馬と田中連中」

【京都部落史研究所報】七号、7月

なかざわしんきち「中世被差別民の系譜—被差別の中での差別、河

原者、穢多、非人について」【ふるさと展望】五号、7月

石尾芳久「被差別部落起源論、増補版」(木鐸社、7月)

岡村保雄「わが道草—三多摩七十五年」

【東京部落解放研究】一五号、8月

落合重信「増補、未解放部落の起源」(神戸学術出版、8月)

寺木伸明「図書紹介『河原巻物』」【解放教育】九九号、9月

東 義和「転形期の部落史研究—盛田嘉徳著『河原巻物』によせ

て」【部落解放研究】一五号、9月

石井良助編「近世関東の被差別部落」(明石書房、9月)

小丸俊雄「相州に於ける近世未解放部落の犯科例」
 【東京部落解放研究】一六号、10月

後藤正人「前近代部落史研究をめぐる諸問題」
 【部落問題研究】五八輯、10月

(資料)「文化期における杆築藩穢多の『浅黄半襟』拒否闘争」
 (同右)

(資料)「大和における『非人番給』史料」(下)(同右)

脇田 修「講座・部落の歴史①—なぜ部落の歴史を学ぶのか」
 【部落】三七一号、10月

前 圭一「部落史の新しい見方④」—問一答」

【月刊部落問題】二三号、10月

鈴木 明・うすいひさみつ「揮毫の部落史」(同刊行会、10月)

師岡佑行「大塩の乱と京都」

【京都部落史研究所報】一一号、11月

脇田 修「講座・部落の歴史②—古代国家と賤民」

【部落】三七三号、11月

後藤正人「書評・渡辺広著『未解放部落の形成と展開』」

【日本史研究】一九五号、11月

亀井トム「部落史の再検討」(三一書房、11月)

(資料)「無縁慈悲集」【部落解放史ふくおか】一三号、12月

師岡佑行「近世京都における最底辺の生活—中島栞隠『都繁言

記』から—」【京都部落史研究所報】一二号、12月

稲田陽一「二重の意味における人民内部の矛盾を如何にするか

(補遺)—封建システム論批判より」

【岡山大学法学会雑誌】二八巻二号、12月

前 圭一「動向・地域における部落史研究の課題—第16回部落問

題研究者全国集会から」【部落】三七五号、12月

脇田 修「講座・部落の歴史③—中世の賤民とその生活」(同右)

【近現代史】

堺支部歴史編さん室「阪田三吉住家の跡—歴史を歩く③」

【解放新聞】大阪版三〇七号、4月

井ヶ田良治「未解放部落の入会権」

【民商法雑誌】法と権利—1—末川博先生追悼論集、4月

秋定嘉和「京都市社会部の調査と部落問題関係資料について」(一)

【京都部落史研究所報】五号、5月

(資料)「新潟県における戦後部落解放運動史資料覧・一九六〇

—一九七七・五」【新潟県部落史研究】創刊号、5月

竹永三男「明治之光」と部落改善運動」

【部落問題研究】五六輯、5月

高田寛明「作られた差別の町—近代・姫路、ある部落の歴史」(上)

【部落解放研究】一四号、6月

竹永三男「第一次大戦期前後の支配政策と部落問題」

【部落問題研究】五七輯、6月

岩井忠熊「天皇制と部落問題」(同右)

(編集部)「西郡・悲惨な伝染病—歴史を歩く⑤」

- 〔解放新聞〕三二五号、6月)
 人見彰彦「解放運動史に関する諸問題(7)」
 〔部落問題・調査と研究〕二二二号、6月)
 阿部真琴「雑居地」のなかの宇治野村」
 〔月刊部落問題〕一九号、6月)
 岡本 隆「闘いの生きざまに学ぶ」
 〔部落解放史ふくおか〕一二二号、7月)
 〔編集部〕「島本・水平社の教訓―歴史を歩く(8)」
 〔解放新聞〕大阪版三一九号、7月)
 〔編集部〕「道祖本・共同浴場のあと―歴史を歩く(9)」
 〔解放新聞〕大阪版三二三号、7月)
 東上高志「未解放部落―小さな部落の大きな歩み」(部落問題研究所、7月)
 ▲特集▽「北越の被差別部落」(「東京部落解放研究」一五号、8月)
 梅沢利彦「証言・未組織県における差別」
 西田彦一「佐渡の集落史に関する若干の問題」
 森 三郎「佐渡の部落解放運動小史」
 横山勝英「未解放部落の規模と分布に関する一考察」
 長尾真砂子「路面電車と車夫の抵抗」
 〔京都部落史研究所報〕八号、8月)
 古賀誠三郎「いばらと鎖からの解放」(明石書店、8月)
 渡部 徹・秋定嘉和「部落問題・水平運動資料集成」補巻二(三一書房、8月)
- 渡部 徹「水平社運動より見た三重県社会運動史―大山峻峰著
 〔三重県水平社労働運動史〕を読んで」
 〔解放教育〕一〇〇号、10月)
 本田 豊「埼玉ビオニール教育運動」
 〔東京部落解放研究〕一六号、10月)
 尾川昌法「近代部落史研究の成果と課題」
 〔部落問題研究〕五八輯、10月)
 〔編集部〕「安中・みこし水洗い事件―歴史を歩く(9)」
 〔解放新聞〕大阪版三三二一号、10月)
 米田 富「西光万吉と水平運動(上)」
 〔部落解放〕一一二四号、11月)
 永末十四雄「日本資本主義と部落問題―筑豊における石炭産業の盛衰をめぐって」
 〔第3回西日本部落解放夏期講座講演集〕、11月)
 ▲特集▽「近代の被差別部落」(「歴史公論」、11月)
 井上清・原田伴彦・渡部徹「近代被差別部落と天皇制」
 小林 茂「解放令前後の被差別部落」
 白石正明「大正デモクラシー下の教育差別」
 村越末男「米騒動と部落差別」
 渡辺俊雄「水平運動の成立と展開」
 川向秀武「中央融和事業協会から同和奉公会へ」
 渡部 徹「部落委員会活動」
 古賀誠三郎「近代被差別部落の実態・東京のばあさん」
- 寺本 知「大阪の解放運動史(十七)」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)
 向井 正「大阪の解放運動史(下)」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)
 村越末男「部落解放運動史(戦前編)」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)
 村越末男「部落解放運動史(戦後編)」(部落解放同盟大阪府連合会、8月)
 武藤啓司「図書紹介」北中皮革争議・思いたすことごとし」
 〔解放教育〕九七号、8月)
 内山一雄「ビオニール教育運動(下)」
 〔部落解放研究〕一五号、9月)
 高田寛明「作られた差別の町(下)」(同右)
 渡辺俊雄「水平運動史総括の諸問題」(同右)
 師岡佑行「長田部落と一本の金棒」
 〔京都部落史研究所報〕七号、9月)
 秋定嘉和「京都市社会部の調査と部落問題関係資料について(5)」(同右)
 部落問題研究所「戦後部落問題年表」(部落問題研究所、9月)
 〔編集部〕「多奈川・急斜面に住む―歴史を歩く(8)」
 〔解放新聞〕大阪版三二二七号、9月)
 青木孝寿「近代部落史の研究・長野県の実像」(部落問題研究所、10月)
- 落合重信「神戸のばあさん」
 松崎武俊「福岡のばあさん」
 秋定嘉和「大正融和主義の―典型・喜田史学における差別の問題」
 原田伴彦「融和行財政の沿革」
 井上 清「戦後の部落問題へのアプローチ」
 天野卓郎「前田三遊」
 住谷 馨「大江 卓」
 山田光二「松井床五郎」「三好伊平治」「岡本弥」
 秋定嘉和「西光万吉」
 原口頼雄「松本治一郎」
 飛鳥井雅道・土方鉄「日本近代文学における被差別部落・『破戒』の評価をめぐって」
 湯浅孝子「特集関係文献解説」
 〔編集部〕「北芝・国有林払下げ闘争―歴史を歩く(8)」
 〔解放新聞〕大阪版三三三五号、11月)
 米田 富「西光万吉と水平運動(下)」
 〔部落解放〕一一二六号、12月)
 ▲特集▽「元号問題と解放教育」(「解放教育」一〇三号、12月)
 永末十四雄「筑豊石炭鉱業と部落問題試論(1)」
 〔部落解放研究〕一六号、12月)
 和氣 隆「水平社解消論」(同右)
 ▲特集▽「近代、福岡における被差別部落」その一(「部落解放

史ふくおか」一二号、12月)

梅津雄三、井元麟之、波多江五兵衛、梅津龍夫、豊田基太郎、松崎武俊、松下志朗、奥村武、川向秀武、原口頼雄
 「座談会・近世、明治初期における堀口村」

原口頼雄「解放令」と堀口村における居住地域拡張の闘い」
 松崎武俊「筑前竹槍一揆」と堀口村」
 松下志郎「豊富村の土地所有と生業」

柴田啓蔵「水平社運動周辺の人々」(同右)

後藤孝夫「東雲新聞の兆民著作目録試案」

〔日本史研究〕一九六号、12月)

赤沢史朗「部落解放運動と小作争議」(西田美昭編「昭和恐慌下の農村社会運動」所収、御茶の水書房、12月)

(編集部)「浪速・栄小学校のあゆみ―歴史を歩く⑧」

〔解放新聞〕大阪版三三九号、12月)

高田寛明「作られた差別の町」(解放出版社、12月)

菅 孝行「現代の部落差別と天皇制―国家権力と差別構造」(明石書店、12月)

(付記)本号から「部落解放研究関係文献目録」を毎号掲載することとした。各号、最新の三カ月分を収録して、季刊としての役割を果たしていきたい。(今号にかぎり昨年四月から十二月までを掲載した。)

選択の基準はおおむね、以下の通りである。

① 部落問題関係機関誌・紀要の研究論文

② 運動団体発行の冊子類

③ その他、雑誌・紀要全般の部落問題関係研究論文、単行本など

関係文献はとりあえず現状・行政・運動・理論・解放教育・社会啓発・文化思想・通史・前近代史・近現代史の10項目に分類して整理した。この分類はあくまでも便宜的なものであり、今後改善していきたい。

従来、関係文献目録は「部落解放年鑑」(部落解放研究所編・発刊)の資料編に掲載してきたが、より早く、手近かに利用できる目録を、この要望に答えるために、紀要への掲載にふみきった。

もとより本目録が完全なものというわけではない。我々の努力不足のために貴重な研究論文に見落しがあるかもしれない。気づいた段階で日付を逆のほってでも収録するつもりなので、読者各位の御協力をお願いする次第である。

(N・W)